

1 開会の日時及び場所

- ・日時 平成21年3月26日(木) 午後2時～午後3時15分
- ・場所 中仙農村環境改善センター 2階 農事研修室

2 出席した委員等の氏名

- ・出席委員 木元洋子委員 熊谷秀夫委員 古村貞夫委員 佐藤昭男委員
高橋 修委員 高橋國文委員 高橋辰美委員 傳農富士夫委員
長谷山祥子委員 平瀬一浩委員 藤田貞子委員

以上11名

(欠席 秋山 康委員 金子美喜男委員 佐藤育男委員 鈴木恭子委員
高貝昇太郎委員 高橋尊雄委員 高橋亮光委員)

- ・市職員 副市長 久米正雄 企画部長小松辰巳 中仙総合支所長 鈴木雅幸
地域振興課長 田口義則 市民課長 大友重俊 農林振興課長 佐藤昭光
建設課長 傳農順一 教育委員会中仙分室長 大信田英夫
八乙女荘事務長 三浦哲夫 総合政策課参事 北野悟 市民課参事 長澤孝秋
地域振興課参事 佐々木孝雄 市民課参事 湯野沢俊作
農林振興課参事 高橋松男 地域振興課主幹 田口祥吾

以上15名

3 次第

【開会】

会長が開会を宣言

【会議の成立】

事務局から出席委員11名、欠席委員7名で2分の1以上の出席があり、協議会が成立することを報告。

【会長あいさつ】

- ・暑さ寒さも彼岸までと申しますが、今日は冬に逆戻りした感がございます。皆様には公私ともにお忙しい中委員各位、また市幹部職員のご出席をいただきありがとうございます。数えますと5月に第1回目の会議を開いてから今回で第6回目となりますが、今までの協議に感謝申し上げます。今日の案件につきましてはお手元にあるとおり、メインといたしまして「市への提言事項に関する施策等への反映について」があり、副市長さんも見えておりますので、せっかくの機会でございますので意見交換をしていただければと思っております。簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。

【副市長あいさつ】

・副市長の久米でございます。中仙地域協議会の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。委員の皆様には大仙市のまちづくりの基本である「住民との協働」の趣旨をご理解いただき、お忙しい中ご協力を賜り感謝申し上げます。合併協議により各地域に地域協議会を設置しましたが、地域協議会には市長の諮問機関というだけでなく、地域枠予算という新しい制度を設け、それぞれに地域の課題を自ら解決するため地域振興計画を作成するなど、委員の皆様には活発な活動をしていただいているところであります。なお、地域協議会は委員の任期満了に伴い、来年度から新たなスタートを切ることになりますが、再任された方は、これからも行政のパートナーとしてよろしくおねがいます。また退任されます方には、これからも市政にご協力・ご理解を賜りますようお願いいたします。市政の運営に当たりましては、「市政は市民のために」を基本理念として、説明責任や情報公開による開かれた市政の推進、市民の目線にたち現場に足を入れ市民と一緒に汗をかくことを第一に行動すると共に、市民評価を取り入れ広報などを通じ市民との情報共有に努め、住民自からまちづくりに参加できる仕組みを市全体に広げたいと考えております。平成 21 年度当初予算は経済情勢を鑑みまして積極的な予算として、大仙市発足以来初めて前年を上回る予算としております。こうした中で、中仙地域の主要事業ですが、県営基盤整備事業については中仙南部地区が換地関係業務、鶯野地区は 3 年目の事業となり、中仙中央地区は平成 24 年採択に向け事業化への同意書の取りまとめとなります。地方道路交付金事業は市道中仙 4 号線鍵見内の橋梁架け替えの箱型函渠工実施設計業務の委託が予定されています。県道角館六号線沿いの公共下水道については、引き続き野田地内から観音堂地内への整備を進めてまいります。また、中仙地域にだけ図書館がございませんでしたが、21 年度において中仙市民会館に開設し、図書整備も進めることとしております。八乙女交流センターなどの八乙女関連 4 施設については、新年度より指定管理者となる太平ビルサービス株式会社秋田支店が管理することとなります。老人憩いの家の解体については寿荘、翠荘、泉荘の 3 施設が残っておりますが、来年度中に解体することとしております。地域協議会委員の皆様を対象とした予算では、今年度と同様に全体研修、先進地視察などの活動を支援する活性化事業を措置し、地域枠予算も今年度と同額を措置しております。以上、市民本位、市民主体の市政の推進に努め、大仙市の基盤を作り上げ、市民が安心して暮らせる郷土を未来に残してまいりたいと考えておりますので、これまで以上のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

【議事】

(1) 会議録署名委員の指名

会長が佐藤昭男委員、平瀬一浩委員の 2 名を指名。異議なしと認め了承する。

(2) 地域枠予算について

・傳農会長…それでは(2)地域枠予算事業について議題とします。これについて説明

願います。

- ・地域振興課長…それではご説明させていただきます。実施類型Ⅰ 1. 市道六日町板屋線側溝緊急修理事業ですが、市道六日町板屋線の旧中仙保育所前の側溝がいつからかは不明ですが破損しておりました。この側溝は水路も兼ねており、降雪期における九日町方面の融雪の水源ともなっているため、速急に修理し関係住民に不便を来すことの無いようにしたいというものです。これについては12月19日の委員研修の際にもお話ししておりますが、緊急と言うことで12月26日に修理を終えております。側溝は勾配可変側溝でB500mm、H600mm、L6000mmで、蓋を入れて、経費が252,000円となります。2. 羽後長野駅舎完成記念式典事業ですが、大仙市とJR東日本秋田支社の共同事業で、昨年12月に着工した羽後長野駅舎が、この3月15日にオープンし営業を開始しました。3月27日の午後完成記念式典を行うこととしましたが、地域活性化のための建物でもあり、地域枠予算で行いたいというものです。関係者の出席を80人程度と見ております。経費はイベント委託料として486,150円を計上しておりますが、内容は会場の設営撤去、音響、記念品、アトラクションに要する経費となっております。実施類型Ⅱ 1. 上大蔵排水路バイパス事業ですが、清水上大蔵地内の排水路が、一部清水小学校のプール敷地の下を直角に曲がって設置されており、最近これが詰まり問題となっていました。このためプールに隣接する土地の地主から了解を得て排水路のバイパス工事を行い、地域の衛生環境を守るというものです。これは市で原材料と重機使用料を負担し、地域住民が労力を提供する協働事業として行い、市の経費を105,000円としております。これも事前にお話ししており緊急を要したため、12月23日に完成させております。以上ご説明を終わります。
- ・傳農会長…説明が終わりましたので一つずつ審議していくこととします。実施類型Ⅰ 1. 市道六日町板屋線側溝緊急修理事業についてはいかがですか。(声無し) 承認することとしてよろしいですか。(異議無しの声あり) それでは市道六日町板屋線側溝緊急修理事業を承認することといたします。次に2. 羽後長野駅舎完成記念式典事業についてはいかがですか。(声無し) 承認することとしてよろしいですか。(異議無しの声あり) それでは羽後長野駅舎完成記念式典事業を承認することといたします。次に実施類型Ⅱ 1. 上大蔵排水路バイパス事業についてはいかがですか。(異議無しの声あり) それでは上大蔵排水路バイパス事業を承認することといたします。次に議題の(3)平成20年度における中仙地域協議会の活動報告についてですが、会を代表して私からご報告させていただきます。はじめに年間の活動状況ですが、会議は今まで5回開催しており、本日の会議を入れ6回の開催となります。第1回目の会議は、5月28日中仙農村環境改善センターで開催しております。議題は「平成20年度中仙地域自治区関係主要事業」、「地域枠予算事業」、「地域コミュニティ会議」、「市長への提言」でございました。第2回目は7月22日に中仙庁舎第21会議室で開催しております。議題は「大仙市都市計画マスタープランの策定」、「大仙市公共交通」でございました。「大仙市都市計画マスタープランの策定」については、本庁都市計画課の職員が来ての説明でした。第3回目は9月26日に中仙庁舎第21会議室で開催しております。議題は「地域枠予算事業」、「市長への提言」、「まちづくり交付金事業事

後評価」についてでございました。第4回目は10月15日に中仙庁舎第21会議室で開催しております。議題は「まちづくり交付金事業事後評価」についてでございました。第5回目は11月7日に中仙農村環境改善センターで開催しております。議題は「市への提言」と「地域枠予算事業」についてでございました。この時は山王丸副市長から出席していただいております。それと今日の会議が第6回目となります。次に委員研修の状況でございますが、一つ目は8月31日に大仙市仙北ふれあい文化センターで行われた地域協議会委員研修への参加でございます。二つ目は11月28日に中仙農村環境改善センターを会場とした、東部地域協議会委員合同研修会でございます。三つ目は12月19日に中仙地域協議会委員視察研修として、大仙美郷クリーンセンターと当地域の地域枠予算事業施工箇所の視察研修をしております。以上20年度は3回の研修を行っております。

次に平成20年度地域枠予算事業について申し上げます。20年度は21の事業を行っておりますので、それについて簡単に申し上げます。1番目でございますが、第59回全国植樹祭使用の譲渡木製品運搬事業で、豊岡小学校、中仙小学校、豊成中学校、中仙中学校に運搬しております。2番目は長野地区子供会・育成会親子共同花壇づくり事業で、市との協働事業として市が花の苗を提供しております。3番目は中仙庁舎西側・八乙女荘・桜寿苑環境美化活動で、長野中16期会と市の協働事業として市が花苗、土、肥料を提供しております。4番目は長野地区・八乙女道路環境美化活動で、八乙女エコクラブと市の協働事業として市で花苗、土、肥料を提供しております。5番目は下中嶋多目的公園造成事業で、押切環境事業組合と市の協働事業として昨年度から行っており、今年度で完成しております。6番目は野中多目的研修センター駐車場整備事業で、降雪期の駐車場を確保し地域コミュニティの活性化を計るため市との協働事業で行ったものです。市で生コン、メッシュを提供し、その他については野中部落で負担しております。7番目は東長野ささら祖師の碑移転修復事業で、地域の伝統芸能である東長野ささらの祖師の碑移転修復のため、東長野ささら保存会に補助金を交付しております。8番目は南中荒井部落自治会街灯設置事業で、南中荒井部落自治会が設置する街灯1灯に対する補助金交付です。9番目は野中部落街灯設置事業で、野中部落が設置する街灯4灯に対する補助金交付です。10番目は公園等整備ボランティア活動貸出備品整備事業で、ボランティア活動支援のため草刈り機、ブローア、チェーンソーを購入し、必要に応じこれを貸し出すものです。11番目は豊岡小学校旧グラウンド敷地内廃タイヤ処理事業で、以前交通安全教室用に使用したタイヤが県道脇に放置されており、環境美化等のためこれを処理したものです。12番目は黒土神楽継承保存事業で、代々小学生がこれを習い継承して来ましたが、大人になったこの人々が更に練習し、しっかりとした継承保存を図りたいとのことで、大人用獅子衣装を購入する黒土神楽継承保存会に補助金を交付したものです。13番目は緊急対策処理事業で、市の事業として豊岡五百刈田地内の通学路にできた蜂の巣を駆除したものです。14番目は中仙管内不法投棄物件処理事業で、市の事業として山麓農道や斉内川沿いにある不法投棄物件を早めに処理し、これらの更なる拡大を防止したものです。15番目は八乙女球場後桜木テングス病枝除去事業で、八乙女運動公園の景観保全と周囲の桜木への感染防止を図ったものです。これも市の事業として行って

おります。16番目は東長野工業団地桜木テングス病枝除去事業で、市の事業として当団地の景観保全と近隣桜木へのテングス病感染防止を図ったものです。17番目は中仙総合支所南・西側桜木テングス病枝除去事業で、これも市の事業として庁舎周りの景観保全と近隣桜木へのテングス病感染防止を図ったものです。18番目は羽後長野駅連絡通路東側防雪施設修繕事業で、老朽化のため波ライトが破れるなどしており、入口付近の凍結防止や景観改善のため市の事業として行ったものです。19番目は市道六日町板屋線緊急側溝修理事業で、市道六日町板屋線小豆瀬地内の側溝が破損しており、この側溝は融雪用水路も兼ねているため、市の事業として緊急的に修理したものです。20番目は上大蔵排水路バイパス事業で、上大蔵地内の排水路が、清水小学校のプール敷地の下をほぼ直角に通っており、これが詰まったため水が流れないようになり、地域住民との協働事業として排水路のバイパス工事を行ったものです。市では原材料と重機の使用料を負担しております。21番目は豊川小学校北側桜並木景観保全事業で、豊川小学校PTAと市の協働事業として桜並木のテングス病感染枝を除去したもので、枝切り等を市で行い、枝の運搬をPTAが行っております。22番目は中仙公民館豊岡分館敷地桜テングス病枝除去事業で、豊岡分館環境整備実行委員会と市の協働事業として、分館敷地のテングス病に感染した桜の枝を除去したものです。これも枝切りを市で行い、運搬を豊岡分館環境整備実行委員会が行っております。最後の23番目が羽後長野駅舎完成記念式典事業で、市とJR東日本秋田支社との共同事業として進めてきた羽後長野駅舎の完成により、地域活性化のための建物でもあるため、地域予算事業として完成記念式典を行うものです。以上が20年度の地域予算事業の概要です。市の方から何かご意見等ありましたらお願いします。

- ・久米副市長…説明いただきましたが、I型の市の事業が多いように感じました。花の植栽やここは桜が多いためテングス病枝の除去とか、この地域の特徴を表していると思います。21年度も工夫して特色を出すような予算執行を望みます。
- ・傳農会長…ありがとうございました。それでは次に議題（4）市への提言事項に関する施策等への反映についてを議題とします。はじめに①道路維持補修の予算配分について説明願います。
- ・建設課長…道路の傷みが激しく、その補修も限界に来ているため、せめてオーバーレイ等の維持補修に予算配分をしていただきたいとの提言でしたが、担当部署の道路維持課の見解として、調査の結果亀の甲羅状態となっている舗装延長が全体の約3割で、オーバーレイや剥ぎ取り再舗装の必要部分もあり、順次対応していかなければ悪化していくばかりなので、年次計画により補修工事を実施したいと考えております。これに対する取り組み状況と今後の予定ですが、市民の交通安全を確保するための維持管理費について、国の「地域活性化・生活対策臨時交付金」が盛り込まれたことから、平成20年度2月補正予算及び平成21年度当初予算の通称「13箇月予算」で対前年比の110%となっております。平成20年度2月補正予算の前倒し工事として、道路維持工事は交通量の多い中仙25号線の北長野地区と清水地区の延長200mの舗装修繕工事を行い、交通安全施設の整備工事は中仙8号線外5路線の区画線工事を行います。今後は、交通量が多くて危険な路線から順次修繕工事を行ってまいりたいと考えておりますので、ご理解くださるようお願いいたします。

- ・ 傳農会長…説明が終わりましたので、委員の方からご意見を伺います。また市の方で付け加えることがございましたらお願いします。
- ・ 久米副市長…市全体の21年度道路維持管理経費が2億3,500万円で、緊急対策の関係で2月27日の補正と合わせれば2億9,000万円ぐらいになります。この中で中仙分は2,900万円の配分と2月27日の補正分が450万円となっております。道路改良予算につきましては、市全体で4億6,000万円弱でその内中仙が6,900万円の配分となっております。道路舗装関係ですが中仙地域はこの後4本の道路舗装が発注されます。袴田8号線、東長野3号線、葛川中西線、田ノ尻5号線がその4本でございます。今現在まちづくり交付金事業が若干残っており、21年度に繰越になります。
- ・ 傳農会長…駅前広場の工事はどうなりますか。
- ・ 地域振興課長…新年度に繰越となり、それからやることになります。
- ・ 平瀬一浩委員…まちづくり交付金事業の中仙中学校の所の工期は過ぎているようですがどうなっていますか。
- ・ 建設課長…補償など様々な事情から事業が遅れ、新年度への繰越も予想されておりました。今年度いっぱい事業であり、できれば年度内に終えたいと思っておりましたが現在の状況となっております。6月30日までには完成できる予定でありますのでご理解いただきたいと存じます。
- ・ 傳農会長…農協跡地はどうなりますか。
- ・ 高橋國文委員…具体的なものができていないので、もう少し時間が欲しいという状況です。
- ・ 傳農会長…県道と農協跡地の段差をロープで危険回避していますが、ロープだけでは危ないので事故が起きる前に善処していただくようお願いします。
- ・ 建設課長…県に要望していきたいと思います。
- ・ 傳農会長…他に無いようですので、②自治会支援について説明願います。
- ・ 地域振興課長…自治会支援補助を来年度も現行通りの補助としていただきたいとの提言でしたが、担当部署である総合政策課の見解を申し上げます。本年度は激変緩和措置としていた補助金の嵩上げ部分を廃止し、更に財政上の理由から一律15%減の補助金となっております。当補助金は自治会の運営上、貴重な財源となっていることは承知しておりますが、市の厳しい財政状況の中、この制度を継続させるための予算措置であることをご理解いただきたいと思います。今後は世帯数を基本とする交付額を見直し、活動が活発な自治会に交付額を増額するなど、地域の実情に見合った活動内容に応じた支援等も検討する余地があると考えております。市としても自治会が自主的、主体的な活動を行うことにより、協働のまちづくりの一環を担っていただくという視点から支援を行っており、各自治会活動への支援については市の財政状況を見据えた交付額であることをご理解いただくと共に、自治会の英知を結集し自治会活動を行っていただきたいと考えております。また、この支援に対する取り組み状況と今後の予定でございますが、現在自治会育成支援として、自治会が行う自治活動及び地域づくり活動に対する補助と集落会館の維持管理費補助として交付している補助金がありますが、会館の維持管理費補助として交付している補助金については、これまで

4区分としていた世帯区分の見直しを行い、少数世帯の自治会が今後とも集落会館を維持できるように支援するため、「10世帯以下」と「11世帯から30世帯」を統合し3区分で運用することとしています。なお、見直し後における補助金の額については、30世帯以下が15,000円の85%を上限として予算の定める範囲内の額としており、他の世帯数区分及び自治会が行う自治活動及び地域づくり活動に対する補助金については従来どおりとしております。今後とも、自治会が自主的、主体的な活動を行うことにより市民と協働のまちづくりを推進していくという観点のもと、自治会を支援していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

- ・ 傳農会長…ありがとうございます。委員の皆さんのご意見を伺います。(声無し) 全体を通してでも結構です。何かございませんか。(声無し) 会館新築の補助は毎年出ておりますか。
- ・ 久米副市長…会館の新築、改築の補助金は毎年有ります。これまでは申請が出た段階で補正予算で対応してはいたしましたが、これからは地域の方々が前もって検討し、当初予算に計上することとしております。
- ・ 傳農会長…他にないようですので、この議題を終わり(5)の意見交換に入りたいと思います。副市長さんが出席しているせっかくの機会ですので、活発な意見交換をしていただきたいと思います。まず私から納税組合について伺いますが、助成金も微々たるもので、存在そのものについても云々されていますが、これ以上は望めないということでしょうか。
- ・ 久米副市長…納税組合の補助金がなぜ削減されたかということ、組合の加入者は自営業の人が主で、最高裁の判例から一部の人に補助することは違法だということで、事務費への補助となった経緯がございます。組合の活動も口座振替が出てきたため何をするのかということ、納期のPR活動とか、口座振替の更なる推進を行い完納に務めるなどになると思います。
- ・ 古村貞夫委員…税の滞納者はどのくらいいますか。
- ・ 久米副市長…市民税、固定資産税で約2%から2.5%ぐらいの額が滞納となっております。国民健康保険税は税額も大きいので納付率が約90%で、どうにかこれを93%ぐらいまでもって行きたいと思っておりますが、現在景気も悪く、収入も少ないということで苦慮しておりますが、収納対策チームを作って収納率向上に努めております。国保税については医療費により税額が違ってきますので、健康診断など医療費を抑制する対策と税率の見直しを図りたいと思っております。
- ・ 傳農会長…他にございませんか。(声無し) 議員定数を減らすとか減らさないとかの話があったと思いますが、どうなっているのでしょうか。
- ・ 久米副市長…次の選挙が終わってからの議論になると思います。
- ・ 藤田貞子委員…失業者に対する市の対応はどうなっているのでしょうか。
- ・ 久米副市長…第1弾として金融関係の貸付枠を増やしました。これまで設備資金だけが利子補給の対象になっていましたが、運転資金まで拡大しております。1,500万円の貸付枠を3,000万円まで広げております。また、少しでも地元の業者に発注しようということで、ハード事業に10億円を追加してございます。緊急雇用ということで30人の方を8箇月なり1年で雇用しております。4月からは30人となり

ます。事業主が新規従業員を雇った場合15万円の助成など、総額約25億円の予算で色々な面から緊急雇用対策を行っております。

- ・熊谷秀夫委員…人口を増やすためには、結婚が必要と思いますが、市役所の中に相談所を設け、交流会など行うことはできないでしょうか。
- ・企画部長…前に農業委員会でやったことがあり、次に商工レベルでもやった経緯があります。若者の結婚への意識も変わってきていることから、市としては結婚できる環境を作るぐらいしかできないとおもいます。
- ・傳農会長…他にございませんか。(声無し) 無いようですので、意見交換はこれで終わります。(6) その他ですが何かございますか。(声無し) 無いようですので、これをもちまして本日の議題の審議を終了します。

【閉会】

会長が閉会を宣言

署名

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規程により会議の次第を記載しこれに相違ないことを証明するためここに署名する。

平成21年3月26日

会議録署名委員

議長

委員

委員